

平成 29 年 5 月 吉日

氷見市長

林 正之 殿

氷見伏木線における押しボタン信号機設置に関する陳情書

窪地区

総代 東海 慎一



柳田地区

総代 野畑 圭造



園地区

総代 前澤 照明



窪小学校

校長 上 隆義



窪小学校友会

会長 安藤 辰徳



新緑の候 貴職にはますますご清栄のことと存じます。

この度、市道氷見伏木線の建設にお力添えをいただきましたことに厚く感謝申し上げます。

新道の開通にともない、歩行者や自転車の横断に係る安全確保のため、下記の通り、押しボタン信号機設置の要望をいたします。つきましては、本件についてご高配をたまわりますようお願い申し上げます。

1 陳情の趣旨

市道氷見伏木線と市道中仙道線との接続交差点又はその付近に押しボタン信号機を設置していただきたい。**H29-015-001**

2 陳情の理由

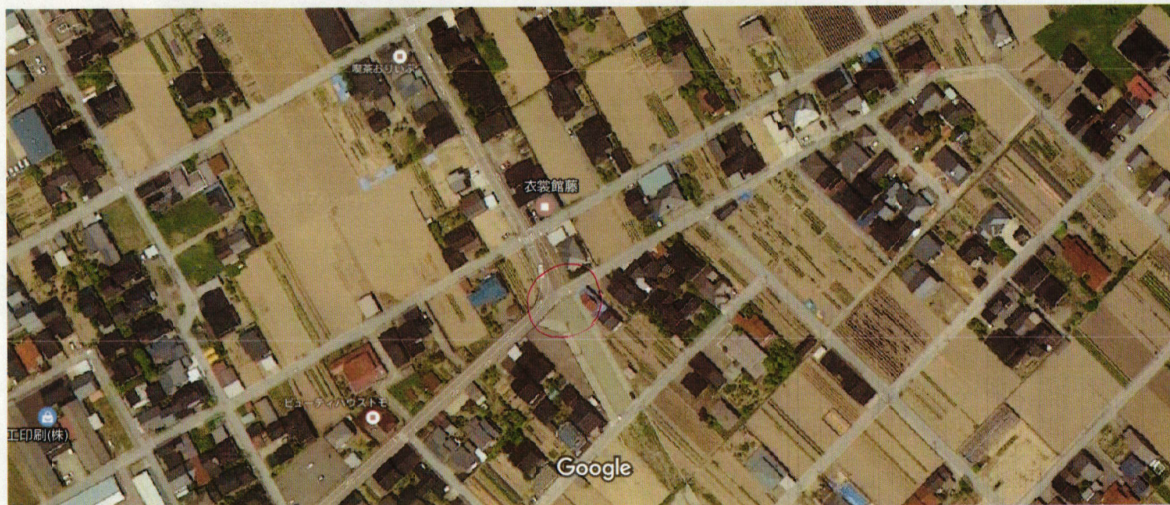
市道氷見伏木線より海岸側の窪、柳田地内に、この道路を横断しないと通学できない窪小児童が50名余りいます。新たな道路は、制限速度50km/h、道幅9mです。自動車にとっては利便性の高いものとなりますが、通学のためにこの道路を横断することは、児童にとってはとても危険です。特に、下校は、学年ごとの下校となり、下級生が少数で横断することもあります。児童の行動は、衝動的なこともあり、危険が大きいものと思われます。また、保護者からは、登下校のみならず、日常生活の子供の事故についても不安の声が上がっております。児童が通学路を安全に横断して登下校できるように、市道中仙道線との接続交差点又はその付近に押しボタン信号機を是非設置していただきたく、お願いを申し上げます。

窪小学校の児童や付近住民の安全確保が窪校区民の願いです。貴職のご理解とお力添えを重ねてお願い申し上げます。





Google



画像 ©2017 DigitalGlobe、地図データ ©2017 ZENRIN 50 m

↓
西条
河